

平成 28 年 5 月 11 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の「毎月分配型」  
 2016 年 5 月 10 日決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」につきまして、「毎月分配型」の各コースにおける 2016 年 5 月 10 日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

<毎月分配型>

■ 第 77 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

	円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
分配額	50 円	60 円	80 円	75 円
付加分配額	0 円	0 円	0 円	0 円
合計額	50 円	60 円	80 円	75 円

■ 第 57 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

	カナダドルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース	金コース
分配額	60 円	80 円	120 円	25 円
付加分配額	0 円	0 円	0 円	0 円
合計額	60 円	80 円	120 円	25 円

■ 第 26 期分配金 (1 万口当たり、税引前)

	米ドルコース
分配額	50 円
付加分配額	0 円
合計額	50 円

- 円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースおよび米ドルコースにおいて基準価額の水準を勘案し、付加分配を見送ることといたしました。

詳細につきましては、2 ページ目の「2016 年 5 月決算時における付加分配について」をご覧ください。

## ■ 2016 年 5 月決算時における付加分配について

「毎月分配型」の各コースは、毎年 5 月および 11 月の決算時(金コースについては、2 月、5 月、8 月および 11 月の決算時)において、毎月の分配額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。当期につきましては基準価額水準等を勘案し、各コースについて前述の付加分配を見送ることといたしました。

なお、付加分配に関しましては、今後の継続的な実施のため、分配後の基準価額が一定の額を下回らない水準以内で行うこととし、各コース(金コースを除く)の毎月の分配額を上限といたします。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
- 詳細につきましては 6 ページの分配方針、もしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

## ■ 2015 年 11 月～2016 年 4 月の運用経過

### <市場動向>

2015 年 11 月～2016 年 4 月の米ドル建てエマージング債券市場(参照指標:JP モルガン EMBI グローバル・ディバースファイド、以下「米ドル建て債」)は上昇しました(米ドルベース、以下同じ)。期初から 2016 年 1 月にかけては、中国などエマージング諸国経済の減速懸念、米国の利上げをめぐる思惑、原油価格の下落、資源国の信用不安などが材料となり、米ドル建て債は軟調な展開となりました。しかし、2016 年 2 月以降は、ECB(欧州中央銀行)の追加緩和、米国の利上げの後ずれ期待、原油など資源価格の上昇などから上昇に転じました。また、ブラジルレアルなどの主要な新興国通貨が米ドルに対して上昇したことから、現地通貨建てエマージング債券市場(JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド)も堅調となりました。国別では、政権交代の期待が高まったブラジルが通貨の上昇とともに大きく上昇した一方、政治的な不安が嫌気され通貨も対米ドルで下落した南アフリカが、現地通貨建て国債で下落しました。

### <運用概要>

ポートフォリオは米ドルベースでプラスの収益率となりました。ガーナやザンビアの米ドル建て国債のほか、オデブレヒト(ブラジル/エネルギー)の米ドル建て社債の組み入れなどがマイナスに作用したものの、インドネシアの現地通貨建て国債に加え、トルコやヨルダンの米ドル建て国債の組み入れなどが、プラス要因となりました。当期の主な投資行動では、メキシコの米ドル建て国債やインドネシアの現地通貨建て国債の一部売却のほか、スロベニアの米ドル建て国債の全売却を実施しました。一方で、アルゼンチンの米ドル建て国債の追加購入に加え、ヨルダンやコスタリカの米ドル建て国債の新規購入などを行いました。その結果、国別ではスロベニアやインドネシア、メキシコなどの比率が低下し、一方でアルゼンチンやトルコ、ヨルダンなどの比率が上昇しました。通貨別では、インドネシアルピアの比率が低下し、コロンビアペソの比率が上昇しました。

期末時点のポートフォリオにおいては、国別では、メキシコやアルゼンチン、トルコ、インドネシア、コロンビアなどが組入上位国となりました。米ドル以外の通貨では、メキシコペソや、南アフリカランド、トルコリラなどの比率が上位となっています。

### <今後の運用方針>

エマージング経済全体としては高い成長率を期待し難いと見通しています。消費主体の経済成長へと構造改革を進める中国経済は、中長期的に成長率が鈍化すると想定されます。政局の混乱などから有効な経済政策の採れていない国々もあります。また、不安定なコモディティ市況が資源国の経済環境の見通

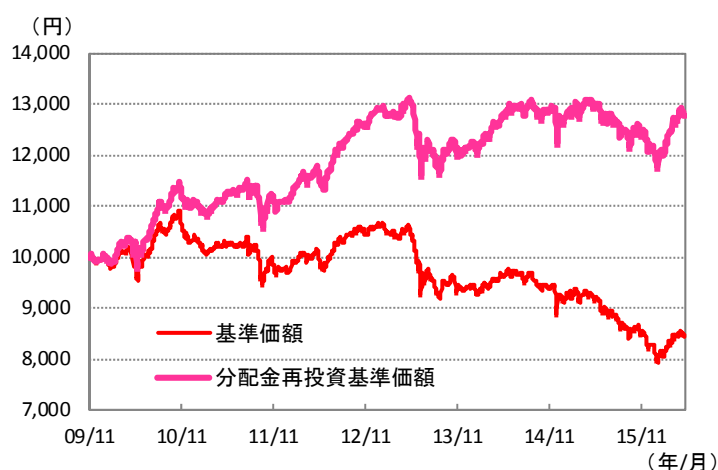
しを不透明にしています。これらの要因は、投資家のセンチメントを悪化させ、市場のボラティリティを高めると想定しています。一方で、米国を中心に先進国経済が比較的安定していることや、バリュエーションが割安な水準になっていること等が下支えになると考えています。全体としての方向感の出難いものの、投資機会はあると考えています。自国通貨安が交易条件の改善に繋がる国、経済構造改革を推し進める国など、エマージング債券市場のリターンにばらつきがあると考えているからです。引き続き各国経済、地政学リスク、需給環境を含む市場動向を注視しながら、ファンダメンタルズ重視の長期投資を推進していく方針です。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

## ■ 基準価額の推移 (設定日～2016年5月10日)

- 「分配金再投資基準価額」の推移は税引前分配金を全額再投資したものとして計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。
- 円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの設定日は2009年11月17日、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースの設定日は2011年8月10日、米ドルコースの設定日は2014年2月7日です。

### ○ 円コース (毎月分配型)



#### [直近5期の分配実績]

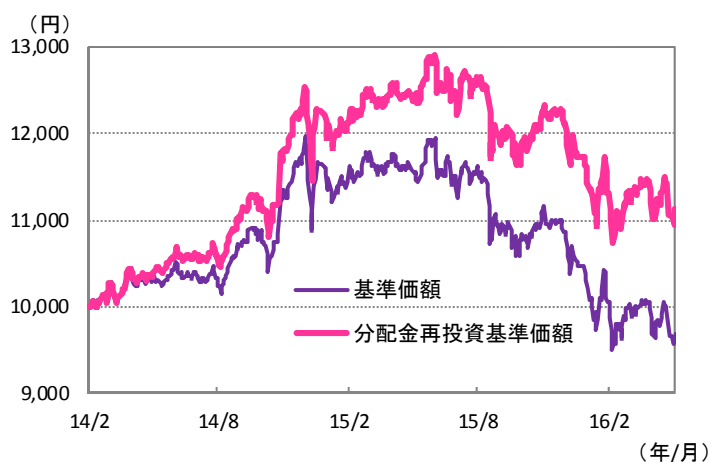
	決算日	分配金
第73期	2016/1/12	50 円
第74期	2016/2/10	50 円
第75期	2016/3/10	50 円
第76期	2016/4/11	50 円
第77期	2016/5/10	50 円
設定来		4,050 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	8,426 円
純資産総額	33.0 億円

### ○ 米ドルコース (毎月分配型)



#### [直近5期の分配実績]

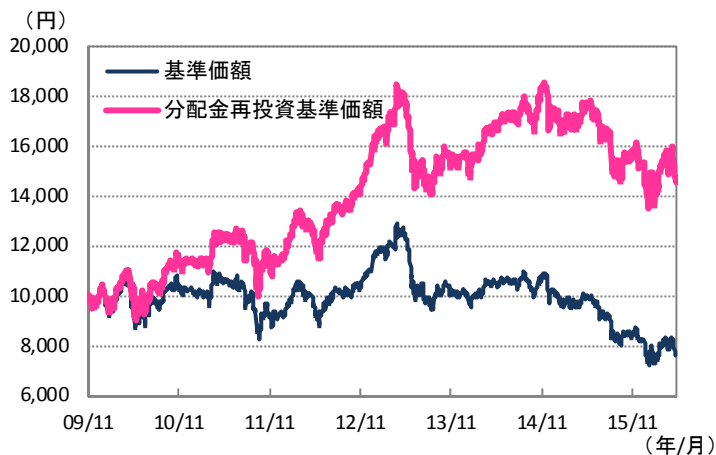
	決算日	分配金
第22期	2016/1/12	50 円
第23期	2016/2/10	50 円
第24期	2016/3/10	50 円
第25期	2016/4/11	50 円
第26期	2016/5/10	50 円
設定来		1,500 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	9,690 円
純資産総額	6.6 億円

## ○ 豪ドルコース (毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

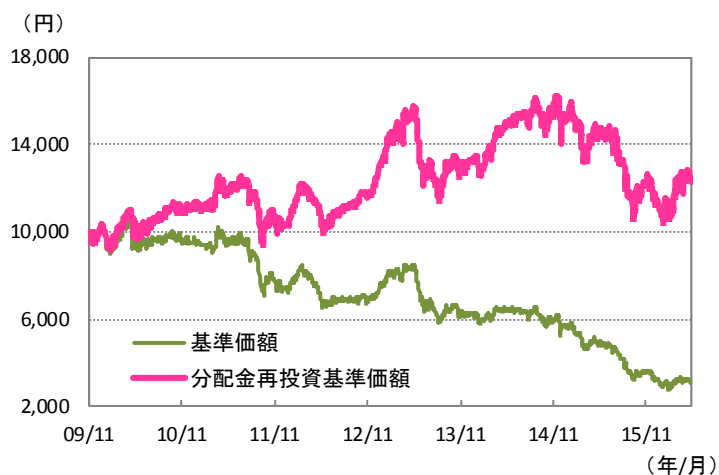
	決算日	分配金
第73期	2016/1/12	60 円
第74期	2016/2/10	60 円
第75期	2016/3/10	60 円
第76期	2016/4/11	60 円
第77期	2016/5/10	60 円
設定来		6,580 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	7,594 円
純資産総額	34.9 億円

## ○ ブラジルリアルコース (毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

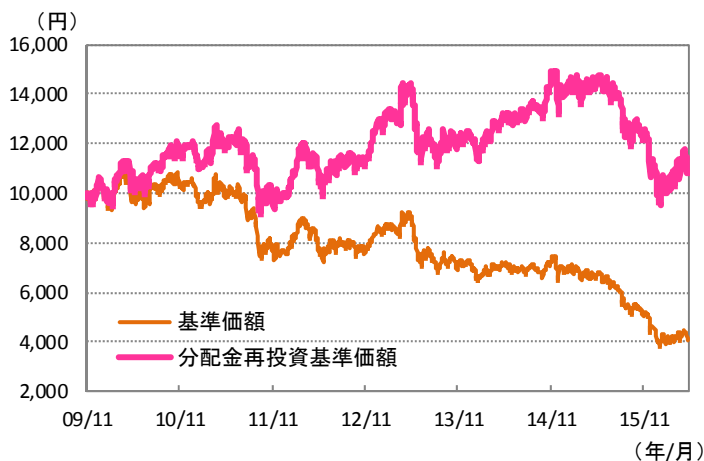
	決算日	分配金
第73期	2016/1/12	80 円
第74期	2016/2/10	80 円
第75期	2016/3/10	80 円
第76期	2016/4/11	80 円
第77期	2016/5/10	80 円
設定来		9,160 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	3,094 円
純資産総額	291.7 億円

## ○ 南アフリカランドコース (毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

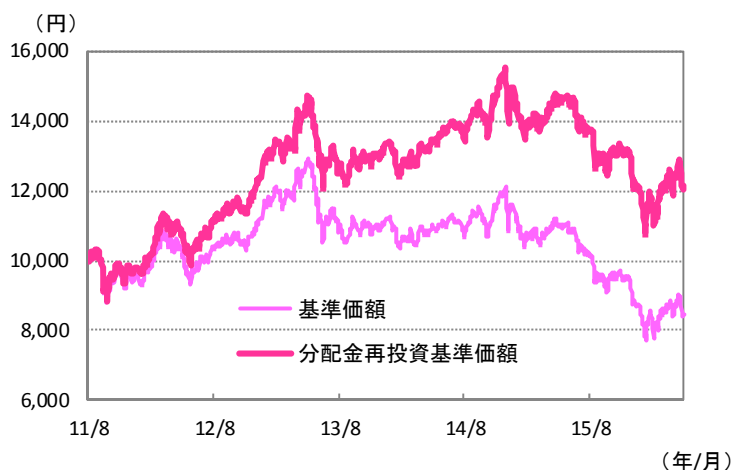
	決算日	分配金
第73期	2016/1/12	75 円
第74期	2016/2/10	75 円
第75期	2016/3/10	75 円
第76期	2016/4/11	75 円
第77期	2016/5/10	75 円
設定来		7,440 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	4,042 円
純資産総額	1.3 億円

## ○ カナダドルコース (毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

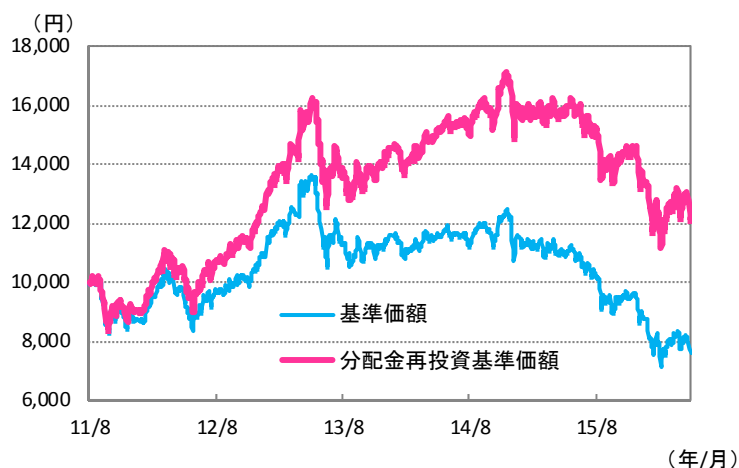
	決算日	分配金
第53期	2016/1/12	60 円
第54期	2016/2/10	60 円
第55期	2016/3/10	60 円
第56期	2016/4/11	60 円
第57期	2016/5/10	60 円
設定来		3,805 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	8,456 円
純資産総額	2.3 億円

## ○ メキシコペソコース (毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

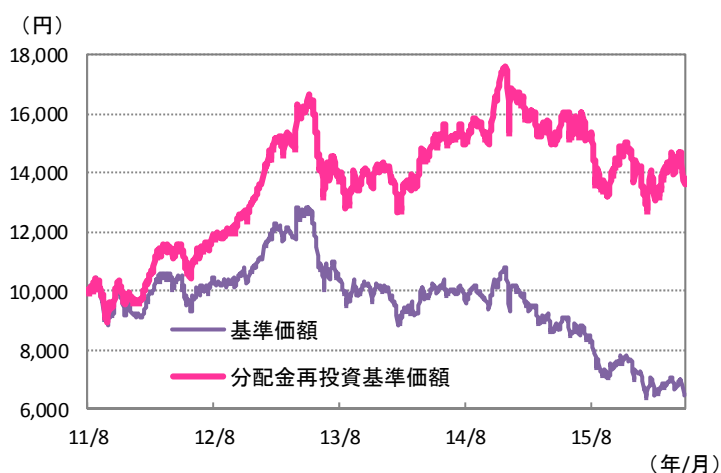
	決算日	分配金
第53期	2016/1/12	80 円
第54期	2016/2/10	80 円
第55期	2016/3/10	80 円
第56期	2016/4/11	80 円
第57期	2016/5/10	80 円
設定来		4,960 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	7,565 円
純資産総額	64.2 億円

## ○ トルコリラコース (毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

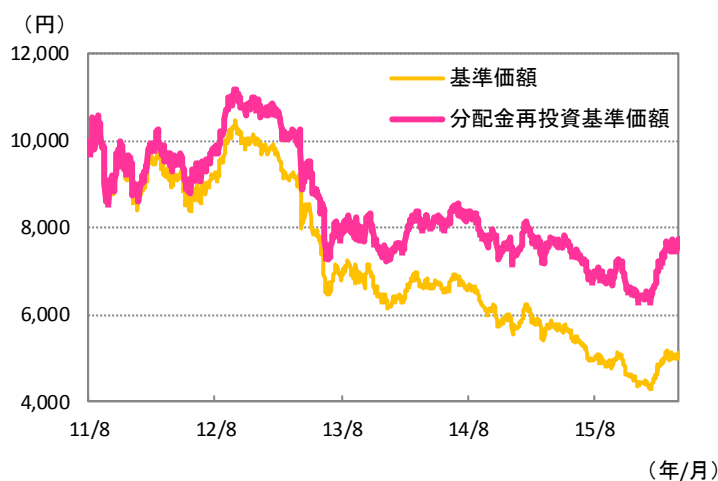
	決算日	分配金
第53期	2016/1/12	120 円
第54期	2016/2/10	120 円
第55期	2016/3/10	120 円
第56期	2016/4/11	120 円
第57期	2016/5/10	120 円
設定来		7,200 円

1万口当たり、税引前

2016/5/10

基準価額	6,444 円
純資産総額	43.7 億円

○ 金コース(毎月分配型)



**[直近5期の分配実績]**

	決算日	分配金
第53期	2016/1/12	50 円
第54期	2016/2/10	50 円
第55期	2016/3/10	50 円
第56期	2016/4/11	25 円
第57期	2016/5/10	25 円
設定来		2,800 円

1万口当たり、税引前

**2016/5/10**

基準価額	5,183 円
純資産総額	21.0 億円

■ **分配方針(毎月分配型)**

毎月 10 日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。
- ② 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配<sup>(注)</sup>を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。また、5月および11月の決算時(金コースについては、2月、5月、8月および11月の決算時)には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額その他、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。  
\* ただし必ず分配を行うものではありません。
- ③ 収益分配に充てず、信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

(注)「原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。



当資料はT&Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

### ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

#### ◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

<各ファンド(マネープールファンドを除く)>

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

<マネープールファンド>

「債券価格変動リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

#### ◎その他の留意点

○ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

○為替取引に関する留意点

ファンドにおける為替取引は、主に為替予約取引を活用しますが、通貨取引に対する規制等の理由から、当該通貨での為替予約取引を行うことが難しい一部の新興国通貨については、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用します。NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDF想定金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少や為替取引によるコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与える場合があります。

※NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引とは

- ・投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行う取引をいいます。
- ・新興国通貨等への取引ニーズの高まりと共に、NDF取引が活用されるようになりました。

○有価証券への投資や為替取引等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手先の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

○ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

○分配金に関する留意点

・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

## ファンドの費用

### ■投資者が直接的に負担する費用

#### ◇ 購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して <b>上限 3.24%(税抜 3.00%)</b> (マネープールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	--

#### ◇ スwitchング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して <b>上限 1.62%(税抜 1.50%)</b> (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	---

#### ◇ 換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
---------	--

### ■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 <b>●各ファンド(マネープールファンドを除く) :年 0.9504%(税抜 0.88%)</b> 投資対象とする外国投資信託 :外国投資信託の純資産総額に対し、 年 0.75%程度 実質的にご負担いただく信託報酬率 : <b>年 1.7004%(税抜 1.63%)程度</b> (ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。) <b>●マネープールファンド :年 0.594%(税抜 0.55%)以内</b>
その他の費用・手数料	<b>【監査報酬】</b> 毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 <b>●各ファンド(マネープールファンドを除く) :年 0.00864%(税抜 0.008%)</b> <b>●マネープールファンド :年 0.0054%(税抜 0.005%)</b> <b>【その他】</b> 証券取引に伴う手数料、ファンドに関する租税、信託事務処理に要する費用等をファンドでご負担いただきます。また、組入外国投資信託においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

\* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\* 詳細につきましては、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

### ■販売会社の名称等

販売会社	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品 取引業者 関東財務局長 (金商)第 142 号	○	○	○	○

※加入協会に○印を記載しています。